S Y S　H O L D I N G S

INVESTORS' GUIDE



第13期　株主通信

2025年8月1日>2026年7月31日



ごあいさつ

世界経済は底堅い成長を維持しつつも、地政学リスクの影響の長期化に加え、コスト上昇圧力や調達金利の上昇が続いており、不透明な見通しとなっています。日本経済は、米国の通商政策を巡る動向や円安等による継続的な物価高の影響が懸念されたものの、所得環境の改善や堅調な企業業績、設備投資、雇用に支えられ、ゆるやかな回復がみられる状況となっております。

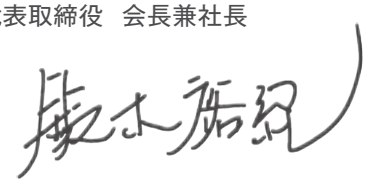
このようななか、第13期は売上高156億73百万円、営業利益7億97百万円とM&A関連費用の計上等により期初予想を下回ったものの、何れも過去最高、13期連続増収、8期連続の増益を果たすことができました。これは、株式上場以来、より付加価値の高い情報サービスを担えるよう最大限に行ってきた人材投資とM&Aが、既存事業の着実な成長に繋がったことによります。

これもひとえに、株主の皆様始め、携わった全ての皆様のご愛顧、ご支援によるものと厚く御礼申し上げます。

第14期は、売上高180億円、営業利益11億33百万円とさらなる増収増益を予想しており、2030年には売上高300億円、営業利益30億円を目指す、高い目標を掲げます。世界経済は混沌としていても、レガシー遺産の維新やDX（デジタルトランスフォーメーション）による情報システム需要は着実に高まっており、経済産業省の予測では2030年には約79万人のITエンジニアが不足すると予測されていることから、IT業界の需要は確実にあると考えております。このような状況に対応するため、採用と育成に対する人材投資を一層に高め、6%の待遇改善を行い技術者の定着性を高め、積極的なM&Aで幅広い技術とサービスを獲得していく所存でございます。

DXに加え、生成AIへの対応、脱炭素社会（カーボンニュートラル）の実現に向けた取り組み等で、より一層に情報システム需要は高まると予想しております。さらなる成長を目指し、一歩ずつ着実に進んで参りますので、より一層のご愛顧、ご支援を賜りますよう、深くお願い申し上げます。

代表取締役　会長兼社長



グローバル情報技術で笑顔を創る
株式会社 SYSホールディングス

証券コード：3988

JPX STANDARD

事業の概況 Business Highlight

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国の通商政策を巡る動向や円安による継続的な物価高の影響が懸念されたものの、所得環境の改善や堅調な企業業績、設備投資、雇用に支えられ、緩やかな回復傾向が続きました。しかしながら、地政学的リスクの長期化に加え、コスト上昇圧力や調達金利の上昇が続いており、先行きは不透明な見通しとなっています。

当社グループが属する情報サービス産業においては、総務省の「サービス産業動態統計調査」によると2026年６月の情報サービス業の売上高合計は、前年同月比7.7%増となり51か月連続の増加となりました。

このような経済状況のなか当社グループは、新規受注の獲得や、顧客からの信頼を獲得し、リスクが低く安定した収益が期待できるリピートオーダーの提案・受注に努めました。

それらの結果、退職が予想を上回ったことや赤字プロジェクトによる影響で技術者の稼働が減少したことにより、売上高、営業利益ともに伸び悩みましたが、前連結会計年度及び当連結会計年度のM&Aによる新規連結子会社の増加や、社会情報インフラ顧客等からの受注が堅調だったことにより、当第４四半期（３か月間）の売上高も4,016,977千円（前年同期比6.0%増）となり、年間でも過去最高の売上高になりました。

利益面におきましては、赤字プロジェクトによる利益の減少や従業員の待遇改善等による人件費の増加、連結子会社事務所の移転関連費用等の販売費及び一般管理費の増加等があり、当第２四半期連結累計期間は営業利益が前年同期比10.0%減と伸び悩んだものの、当第３四半期及び当第４四半期（６か月間）の営業利益が前年同期比37.1%増と挽回したことにより、過去最高益となりました。また、為替差益や助成金収入の増加等により営業外収益が増加し、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が過去最高益になりました。

以上の要因により、当連結会計年度における連結業績は、売上高15,673,698千円（前期比11.5%増）、営業利益797,851千円（前期比13.1%増）、経常利益857,775千円（前期比17.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益548,522千円（前期比29.5%増）となりました。

当社グループは、総合情報サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりませんがソリューション別の概況は、次のとおりであります。

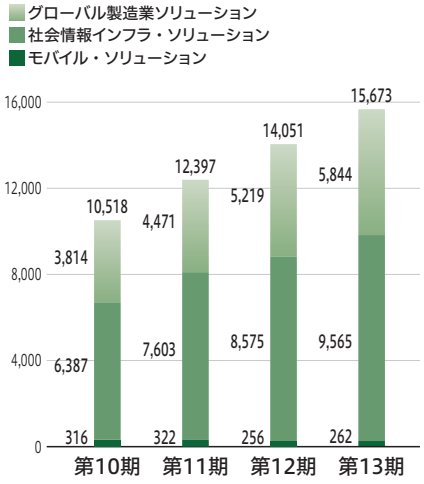
グローバル製造業ソリューションにおいては、搬送機、鉄鋼関連顧客等からの受注が堅調に推移したこと等により、売上高は5,844,948千円（前期比12.0%増）となりました。

社会情報インフラ・ソリューションにおいては、金融、鉄道関連顧客等からの受注が堅調に推移したこと等により、売上高は9,565,860千円（前期比11.6%増）となりました。

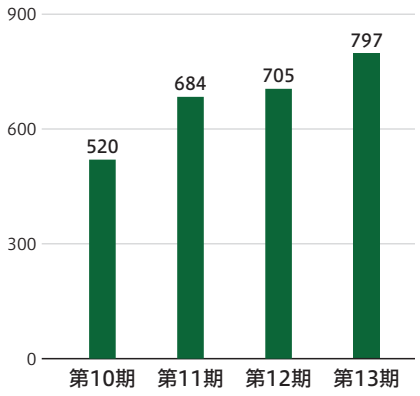
モバイル・ソリューションにおいては、受託開発の受注が増加したこと等により、売上高は262,890千円（前期比2.6%増）となりました。

業績ハイライト Financial Highlight

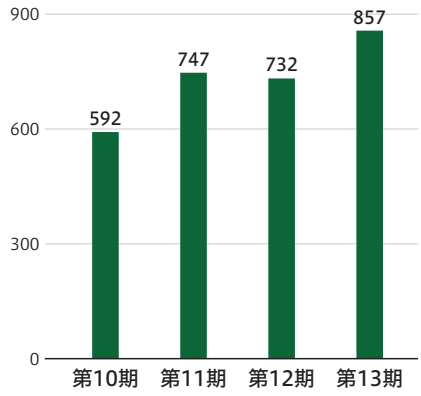
売上高（単位：百万円）



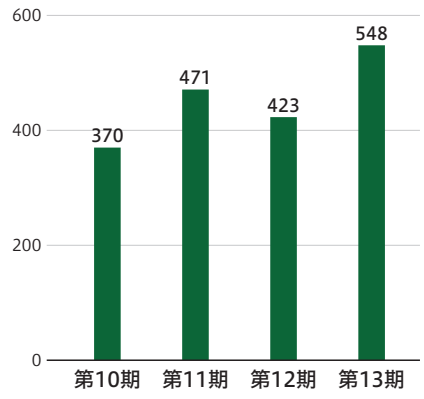
営業利益（単位：百万円）



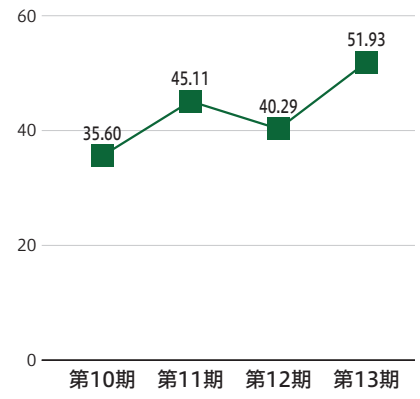
経常利益（単位：百万円）



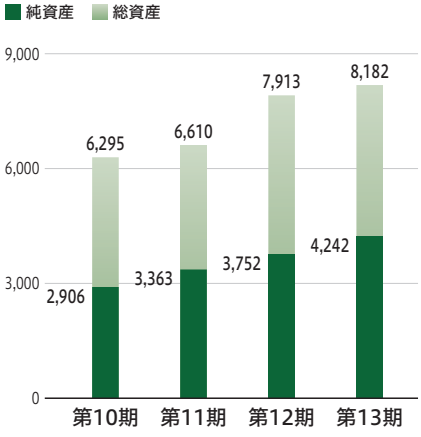
親会社株主に帰属する当期純利益(単位:百万円)



一株当たり当期純利益(単位:円)



純資産/総資産(単位:百万円)



※2024年８月1日付で普通株式１株につき２株の株式分割を行っております。そのため、第10期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、一株当たり当期純利益を算定しております。
※記載金額は、表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

第14期の見通し Forecast

当社グループが属する情報サービス業については、米国の関税政策により輸出産業の投資抑制、世界的な物価高による個人消費の低迷、紛争等の地政学的リスクによるサプライチェーンへの影響等のリスクがあるものの全ての産業で人手不足が継続しており、ＤＸ化の推進は一層進むと予想しております。

また、生成ＡＩによる情報サービス業の変革により、今まで予算不足で実現しなかったプロジェクトが実現可能になり、近い将来ＳａａＳ※に頼らなくても多言語・多通貨の大規模なシステム開発が短納期で実現可能になると考えられております。

これらの影響により、案件数の増大や大型化が起こっており、それに対応できない派遣・準委任等を行うＳＥＳ（システムエンジニアリングサービス）専業の中小ソフト会社の受注ポジションが低下し苦戦しております。

このような状況のもと、当社グループは、責任ある大型化する案件を受注し、ビジネスパートナー様への発注を進めることで、事業の拡大と収益性の向上を進める方針です。

2027年７月期の連結業績につきましては、売上高18,000百万円（当連結会計年度比14.8％増）、営業利益1,133百万円（当連結会計年度比42.1％増）、経常利益1,119百万円（当連結会計年度比30.5％増）、親会社株主に帰属する当期純利益664百万円（当連結会計年度比21.2％増）と予想しております。

※ＳａａＳとはSoftware as a Serviceの略でサーバー上で動作するクラウドサービス。ユーザーは月額・年額料金を支払ってサービスを利用する。

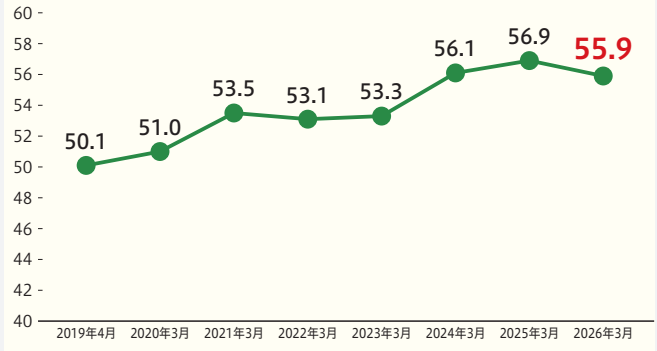
トピックス Topics

従業員エンゲージメント

LM社※10,000社を超える企業中上位27%

※: LM社…㈱リンクアンドモチベーション

エンゲージメントスコア（ES）推移／国内全社



従業員意識と組織課題を**可視化**

↓

組織力向上の**アクションプラン**を策定・実行

↓

より**働きがい**のある組織・職場

2026年3月のエンゲージメントレーティング※2は国内全社:**BBB**となりました。

※2:㈱リンクアンドモチベーション「モチベーションクラウド」による評価であり、BBBは全11段階中上位から5段目のレーティング

ライフワークバランス

平均残業時間

13.7時間

（▲1.0時間）

有休取得率

72.6%

（+2.5%）

中部事業所移転

東京オフィスに続き名古屋も移転　常に人（採用、BP様、お客様、社員）が集まる新オフィス









多様性と働き方改革

寄付だけに留まらない地域・社会貢献

心をこめた地域・社会貢献活動を継続しています



グループ運動会へ養護施設ご招待





餅つき大会を主催

清掃活動



盆踊りに参加

会社概要及び株式の状況
Corporate Profile & Stock Information

会社概要（2026年7月31日現在）

会社名	株式会社SYSホールディングス
英訳名	SYS Holdings Co.,Ltd.
所在地	愛知県名古屋市東区代官町35番16号
設立	2013（平成25）年8月1日
資本金	432,435千円
従業員数	1,685名（グループ含む）

連結子会社	
株式会社エスワイシステム	愛知県名古屋市東区
株式会社ＳＹＩ	愛知県名古屋市東区
株式会社エス・ケイ	東京都中央区
株式会社総合システムリサーチ	愛知県名古屋市中村区
株式会社グローバル・インフォメーション・テクノロジー	愛知県名古屋市東区
株式会社テクノフュージョン	愛知県名古屋市中区
株式会社オルグ	東京都豊島区
ＫＥＥＬ株式会社	愛知県名古屋市東区
株式会社レゾナント・コミュニケーションズ	東京都中央区
株式会社スレッドアンドハーフ	東京都中央区
つくばソフトウェアエンジニアリング株式会社	茨城県土浦市
株式会社アイガ	愛知県名古屋市中村区
株式会社マリオン	東京都豊島区
株式会社ラーカイラム	東京都品川区
株式会社ＨＴＣ	大阪府大阪市西区
株式会社アイビーシステム	新潟県新潟市北区
株式会社サンライジングコーポレーション	愛知県名古屋市東区
PT.SYS INDONESIA	インドネシア ジャカルタ市
THAI SOFTWARE ENGINEERING CO., LTD.	タイ バンコク市

役員（2026年10月28日現在）

代表取締役会長兼社長	鈴木　裕紀
取締役専務執行役員	後藤　大祐
取締役	玉本　真也
取締役執行役員	風間　哲也
取締役（社外）	岩田　則子
取締役常勤監査等委員	堀江　克由
取締役監査等委員（社外）	森戸　尉之
取締役監査等委員（社外）	深井　貴伸

株式の状況（2026年7月31日現在）

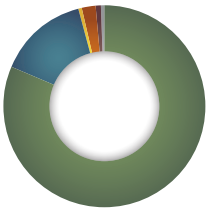
発行可能株式総数	32,000,000株
発行済株式の総数	10,630,995株
株主数	1,634名

大株主（2026年7月31日現在）

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
鈴木　裕紀	3,937,051	37.20
安田　鉄也	1,446,936	13.67
三井住友信託銀行株式会社(信託口 甲20号)	1,292,548	12.21
SYSHDグループ従業員持株会	869,400	8.21
光通信株式会社	407,700	3.85
DAIWA CM SINGAPORE LTD-NOMINEE KATO TOMOHISA	176,600	1.66
長崎　純一	106,000	1.00
石村　藤夫	89,000	0.84
瀬戸信用金庫	81,600	0.77
株式会社三井住友銀行	80,000	0.75
株式会社百五銀行	80,000	0.75

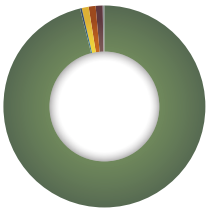
(注)1.持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2.三井住友信託銀行株式会社(信託口　甲20号)1,292,548株は、鈴木裕紀が委託した信託財産であり、信託契約上、議決権の行使については、同氏が指図権を留保しております。

株式分布状況（2026年7月31日現在）



株式数構成比

個人・その他	8,659,201株	81.45%
金融機関	1,542,148株	14.50%
その他国内法人	66,205株	0.62%
外国人	229,660株	2.16%
金融商品取引業者	84,497株	0.79%
自己名義株式	49,284株	0.46%



株主数構成比

個人・その他	1,573名	96.26%
金融機関	5名	0.30%
その他国内法人	16名	0.97%
外国人	21名	1.28%
金融商品取引業者	18名	1.10%
自己名義株式	1名	0.06%

株主メモ
Information for Shareholders

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
基準日	定時株主総会　7月31日 期末配当　7月31日 中間配当　1月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告方法	電子公告 アドレス：https://www.syshd.co.jp/ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

お問い合わせ先　**株式会社SYSホールディングス**
〒461-0002　愛知県名古屋市東区代官町35番16号 第一富士ビル2F
TEL. 052-937-0209　URL https://www.syshd.co.jp/

GREEN PRINTING JFPI P-A10007
UD FONT
VEGETABLE OIL INK
FSC www.fsc.org ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えています FSC® C022915